

全国パーキンソン病友の会

茨城県支部20年の歩み

【 1977年～1985年度 】

- 1976年 11月 ・全国パーキンソン病友の会結成
- 1977年 6月 ・全国友の会会報創刊号発行
- 1983年 5月 ・茨城県難病団体連絡協議会結成
- 1984年 3月 ・機関紙「 いばらぎ難連 」創刊号発行
- 1986年 3月 ・全国パーキンソン病友の会 茨城県支部設立
「記念講演」 筑波大学付属病院 金沢一郎 先生

「全国パーキンソン病友の会」
17番目の県支部発足
広範囲に活動展開へ



「全国パーキンソン病友の会」は、1976年11月に結成された。この会は、全国的に活動範囲を広げ、17番目の県支部を発足させた。この支部の発足は、広範囲に活動展開へ向けた重要な一歩である。

この支部の活動は、患者の相互支援、情報交換、そして社会への啓蒙活動に重点を置いている。また、定期的な集まりや講演会を開催し、患者の生活の質を向上させることを目指している。

支部の発足に際しては、関係機関や医療従事者の協力も得られている。今後も、患者のニーズに応じた活動を展開していく予定である。

「顔」

先頭に立って活動
事務局長記者ぜひ欲しい



「顔」は、全国パーキンソン病友の会の機関紙である。この機関紙は、患者の生活や活動に関する情報を提供し、相互支援の場を提供している。事務局長の記者としての役割は、重要なものである。

この機関紙を通じて、患者の声を届けることができ、社会への理解を深めることができる。事務局長の記者としての役割は、患者の生活を支える重要な存在である。

この機関紙の発行は、患者の生活の質を向上させるための重要な取り組みである。今後も、患者のニーズに応じた内容を提供していく予定である。

友の会県支部を結成
23日、水戸で準備会

「友の会」は、全国的に活動範囲を広げ、23日に水戸で準備会を開催した。この準備会は、支部の発足に向けた重要な一歩である。

この準備会では、関係機関や医療従事者の協力も得られている。今後も、患者のニーズに応じた活動を展開していく予定である。

「一人でも多く参加を」
23日に結成準備会

「一人でも多く参加を」をテーマに、23日に結成準備会を開催した。この準備会は、支部の発足に向けた重要な一歩である。

この準備会では、関係機関や医療従事者の協力も得られている。今後も、患者のニーズに応じた活動を展開していく予定である。

「23日に念願の設立」
県に補助など協力要望

「23日に念願の設立」をテーマに、県に補助など協力要望を出した。この要望は、支部の発足に向けた重要な一歩である。

この要望では、関係機関や医療従事者の協力も得られている。今後も、患者のニーズに応じた活動を展開していく予定である。

石岡の清水さんら

【 1977年～1986年度 】

- 4月
- ・「全国パーキンソン病友の会茨城県支部」茨城難病団体連絡協議会に加盟
 - ・支部会報創刊号発行

県が三保健所で各三回実施

専門医が医療相談

会長に 横島氏 県難病団体連が総会

【本報記者 山本 誠】

県難病団体連絡協議会（以下、協議会）は、廿二日（金）午後二時、県庁第一庁舎第一会議室で、第廿四回総会を開き、横島氏を会長に選出された。協議会は、県内各保健所で、毎月一回、専門医による医療相談を実施している。協議会には、県内各難病団体から、約五十名が参加した。協議会では、今後、県内各保健所で、毎月一回、専門医による医療相談を実施していくこととした。

協議会では、今後、県内各保健所で、毎月一回、専門医による医療相談を実施していくこととした。協議会には、県内各難病団体から、約五十名が参加した。

協議会では、今後、県内各保健所で、毎月一回、専門医による医療相談を実施していくこととした。協議会には、県内各難病団体から、約五十名が参加した。

- 5月
- ・第10回全国大会「北海道・札幌市」に参加
 - ・JPC結成総会に参加



全国パーキンソン病友の会北海道大会記念 於 昭和野山 5-61.6.9

- 10月
- ・国立精神・神経センターの設立
 - ・JPC全国交流会「静岡県・熱海市」に参加
 - ・第1回患者・家族交流会「いこいの村ひめま」で開催



Fujico.com Inc.

4月 第2回支部総会 記念講演 筑波大学付属病院 金澤一郎 先生 講演

全国パーキンソン病友の会
群馬支部（清水幹雄支部長、会
員八十五人）の第二回定期総
会が五日、水戸市千波の職員
福祉センターで行われた。
清水支部長のあいさつなど
の後、講演に入り、六十二年
度の活動方針として①未加入

パーキンソン病
潜在患者の発掘を
友の会県支部が総会



全国パーキンソン病友の会
群馬支部第二回定期総会

活動方針などを決めた県支
部の第二回総会
の潜在患者の発掘に努めると
ともに、一般社会へ同病の啓発
宣伝を行う②会員相互の親ほ
くと団結を深めるための研究会
や交流会を確く③総会による

患者宅訪問を行う④県難産な
どの難病団体との連携を深め
る⑤支部会報を発行する一こ
とを決めた。
また筑波大の金沢一郎助教
授の講演もあり、出席した患
者や家族らが熱心に旨を傾け
た。
パーキンソン病は脳せんや
筋肉の硬直からくる歩行障
害、言語障害など症状が出る
難病で、原因不明で、確立し
た治療法もない。患者は人口
十万人に対し四、五十人いる
といわれ、県内にも千百人が
ら千四百人いると推測されて
いる。
同支部は昨年三月に全国十
七番目の支部として発足、未
加入患者の発掘や一般社会へ
の啓発活動のほか、国や県に
対して研究体制の確立と医療
福祉の充実などを働きかけて
いる。

62. 4. 6

5月 第11回全国大会「東京・南青山」に参加

9月 第2回患者・家族交流会「塩原温泉・ぬりや」で開催



心やすらぐおふくろの味 **ぬりや旅館** 日光国立公園
塩原温泉

11月 JPC全国交流会「福島県・二本松」に参加

4月 パーキンソン病友の会茨城県支部長 清水昇勝 氏が茨城難病連会長に就任
第3回支部総会 記念講演 東京都立神経病院 田辺等 先生講演



10月

第3回患者・家族交流会「大子温泉・福寿荘」で開催



全国パーキンソン病友の会茨城県支部 昭63.10.1 福寿荘

6月 茨城難病連JPCに加盟
第12回全国大会「大阪府・大阪市」に参加



11月

JPC全国交流会「滋賀県・大津市」に参加



【 1989年度 】

- 4月 第4回支部総会 記念講演 順天堂大学病院 榎林博太郎 先生 講演
- 5月 第13回全国大会「埼玉県・嵐山」に参加
- 6月 JPC国会請願・衆議院で採択
- 10月 第4回患者・家族交流会「八郷町・つくばね」で開催



全国パーキンソン病友の会茨城県支部 H.1.10.21. 於つくばね

JPC全国交流会「長野県・諏訪市」に参加

【 1990年度 】

4月 第5回支部総会記念講演 全国療育相談センター 宇尾野公義 先生講演

5月 第14回全国大会「愛媛県・松山市」に参加



10月 支部設立5周年記念企画「サイラーピアノデュオ」コンサート開催



10月 第5回患者・家族交流会「十王町・鶴の岬」で開催

29日に秋の交流会
 パーキンソン病友の会県支部
 アマ歌謡連盟
 石浜安彦が中心
 心温まるものに

（左側には詳細な記事本文が縦書きで記載されている）

（下部には「三條」のロゴと「10月29日（金曜日）」の日程が記載されている）



**ザイラー
ピアノ・デュオ
チャリティ
コンサート**
inつくば

「ザイラーピアノ・デュオ」は、1985年に設立された、障がい者音楽グループ。メンバーは、聴覚障害者、知的障害者、肢体障害者など、多岐にわたる。彼らは、音楽を通じて、社会と交流し、自己表現の場を求め、また、社会の理解と支援を呼びかけることを目指している。



11月10日(日)
午後1時開演、2時開演
会場：つくば市立市民会館
入場料：2,000円
主催：つくば市立市民会館
後援：つくば市、つくば市立市民会館
協賛：つくば市立市民会館
お問い合わせ：つくば市立市民会館
電話：0299-22-1000
〒305-1122 つくば市中央1-1-1

「ザイラーピアノ・デュオ」は、1985年に設立された、障がい者音楽グループ。メンバーは、聴覚障害者、知的障害者、肢体障害者など、多岐にわたる。彼らは、音楽を通じて、社会と交流し、自己表現の場を求め、また、社会の理解と支援を呼びかけることを目指している。

1月8日(木)
第128号

●配布サービス地域
15市町村
●配布枚数
1875,000部
(世帯別配布枚数)

**ザイラー夫妻招き
13日に新友会開催**
パーキング病患者

「ザイラー夫妻招き13日に新友会開催」は、パーキング病患者の交流を目的としたイベント。ザイラー夫妻は、障がい者音楽グループとして活躍している。このイベントでは、ザイラー夫妻の演奏や、患者同士の交流が行われる。



ザイラー夫妻は、障がい者音楽グループとして活躍している。このイベントでは、ザイラー夫妻の演奏や、患者同士の交流が行われる。

茨城版



成功のかけに夫妻のデュオ

「ザイラー夫妻」は、障がい者音楽グループとして活躍している。彼らは、音楽を通じて、社会と交流し、自己表現の場を求め、また、社会の理解と支援を呼びかけることを目指している。

「ザイラー夫妻」は、障がい者音楽グループとして活躍している。彼らは、音楽を通じて、社会と交流し、自己表現の場を求め、また、社会の理解と支援を呼びかけることを目指している。



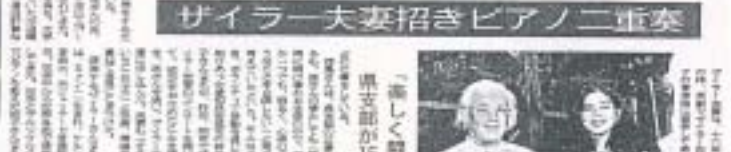
「タクキタ薬局」は、障がい者音楽グループとして活躍している。彼らは、音楽を通じて、社会と交流し、自己表現の場を求め、また、社会の理解と支援を呼びかけることを目指している。

**パーキング病患者
心弾み明るく**

「ザイラー夫妻招きピアノ二重奏」は、パーキング病患者の交流を目的としたイベント。ザイラー夫妻は、障がい者音楽グループとして活躍している。このイベントでは、ザイラー夫妻の演奏や、患者同士の交流が行われる。

ザイラー夫妻招きピアノ二重奏

「ザイラー夫妻招きピアノ二重奏」は、パーキング病患者の交流を目的としたイベント。ザイラー夫妻は、障がい者音楽グループとして活躍している。このイベントでは、ザイラー夫妻の演奏や、患者同士の交流が行われる。



「ザイラー夫妻招きピアノ二重奏」は、パーキング病患者の交流を目的としたイベント。ザイラー夫妻は、障がい者音楽グループとして活躍している。このイベントでは、ザイラー夫妻の演奏や、患者同士の交流が行われる。

「タクキタ薬局」は、障がい者音楽グループとして活躍している。彼らは、音楽を通じて、社会と交流し、自己表現の場を求め、また、社会の理解と支援を呼びかけることを目指している。

「タクキタ薬局」は、障がい者音楽グループとして活躍している。彼らは、音楽を通じて、社会と交流し、自己表現の場を求め、また、社会の理解と支援を呼びかけることを目指している。

「タクキタ薬局」は、障がい者音楽グループとして活躍している。彼らは、音楽を通じて、社会と交流し、自己表現の場を求め、また、社会の理解と支援を呼びかけることを目指している。

「タクキタ薬局」は、障がい者音楽グループとして活躍している。彼らは、音楽を通じて、社会と交流し、自己表現の場を求め、また、社会の理解と支援を呼びかけることを目指している。

1990年(平成2年)11月5日

ザイラー夫妻の演奏会
パーキング病患者の会

「ザイラー夫妻の演奏会」は、パーキング病患者の交流を目的としたイベント。ザイラー夫妻は、障がい者音楽グループとして活躍している。このイベントでは、ザイラー夫妻の演奏や、患者同士の交流が行われる。

「タクキタ薬局」は、障がい者音楽グループとして活躍している。彼らは、音楽を通じて、社会と交流し、自己表現の場を求め、また、社会の理解と支援を呼びかけることを目指している。

「タクキタ薬局」は、障がい者音楽グループとして活躍している。彼らは、音楽を通じて、社会と交流し、自己表現の場を求め、また、社会の理解と支援を呼びかけることを目指している。

「タクキタ薬局」は、障がい者音楽グループとして活躍している。彼らは、音楽を通じて、社会と交流し、自己表現の場を求め、また、社会の理解と支援を呼びかけることを目指している。

4月 第7回支部総会 記念講演 筑波大学付属病院 水沢英洋 先生 講演

12月17日難病講演会
 パーキンソン病
 友の会県支部
 全国パーキンソン病友の会県支部は「パーキンソン病—過去・現在そして未来」と題した講演会を十二日午後一時から、水戸市千波町の親睦会福祉会館で開催する。

パーキンソン病は全身の筋肉が硬直し、動かしこがでなくなるといわれる。今回は筑波大学付属病院 脳神経内科の水沢英洋医師が講演する。入場無料。問い合わせは同支部長、清水さん (0270-22-5155) (ボ)。

6月 10月
 大津 北南
 午前00

JPC全国交流会「東京・霞ヶ関」に参加

第7回患者・家族交流会「いこいの村ひぬま」で開催



パーキンソン病友の会 平成4年10月3日 於いこいの村沼田

他難病団体と連帯を

ソニーパーキンソン病友の会 水戸で定期総会

ソニーパーキンソン病友の会水戸支部は、平成4年10月3日、沼田の「いこいの村」で第7回患者・家族交流会を開催した。この交流会は、全国パーキンソン病友の会水戸支部が主催し、患者、家族、関係者約100名が参加した。交流会は、午前9時から午後5時まで行われ、まず、水戸支部長清水さんによる挨拶があった。清水さんは、パーキンソン病は、脳神経細胞が徐々に死んでいく病気であり、現在は治療法がないと説明した。また、患者の生活に役立つ情報を提供し、患者と家族の交流を促した。交流会は、患者と家族の交流の場となり、大いに盛り上がった。交流会の模様は、支部のホームページに掲載されている。

5月 第16回全国大会「神奈川県・横浜市」に参加



【 1993年度 】

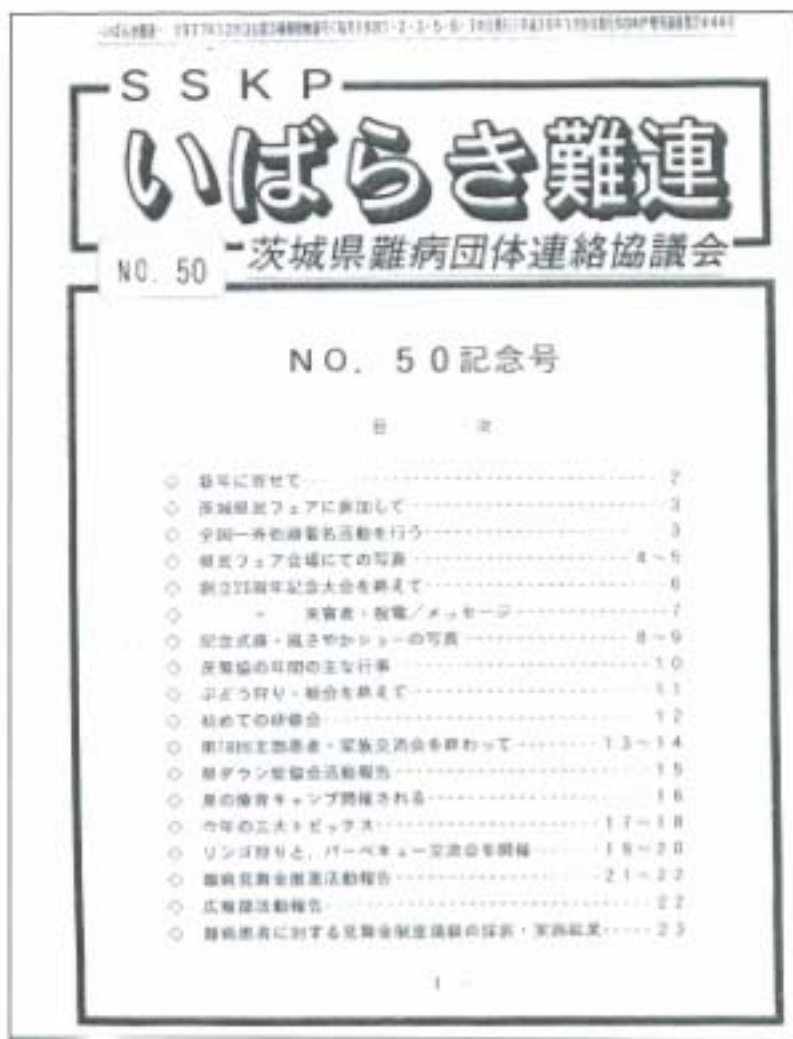
- 4月 第8回支部総会 記念講演 国立水戸病院 吉沢和朗 先生 講演
- 5月 第17回全国大会 「栃木県・宇都宮市」 に参加
- 7月 JPC全国交流会 「北海道・札幌市」 に参加
- 10月 第8回患者・家族交流会 「大子温泉・福寿荘」 で開催



全国パーキンソン病友の会茨城県支部 H.5.10.2 於 福寿荘

- 11月 障害者基本法成立

1月 全国会報『50号』発行



4月 第9回支部総会 記念講演 筑波大学付属病院 庄司進一 先生 講演

5月 第18回全国大会「長野県・松本市」に参加



9月 第9回患者・家族交流会「大洗町・かもめ荘」で開催



患者・家族交流会 全国パーキンソン病友の会茨城県支部 平成6年10月5日 於 かつらぎかもめ荘

11月 JPC全国交流会「東京・全共連ビル」に参加

【 1995年度 】

10月 第10回患者・家族交流会「塩原温泉・ぬりや」で開催



全国パーキンソン病友の会茨城支部結成十周年記念 平成7年10月7日 塩原/ぬりや旅館

11月 JPC全国交流会「北海道・札幌市」に参加



J P C 全 国 交 流 集 会

【 1996年度 】

2月 支部結成10周年記念誌発行

4月

第11回支部総会 記念講演 水戸赤十字病院神経内科 鈴木則宏先生 講演

SSKA

あゆみ

〔支部結成10周年記念誌〕



全国パーキンソン病友の会
茨城県支部

4月 難病情報センター事業開始

雑誌 4.160

雑誌 4.230

雑誌 4.300

雑誌 4.320

雑誌 4.330

雑誌 4.340

雑誌 4.350

雑誌 4.360

雑誌 4.370

雑誌 4.380

雑誌 4.390

雑誌 4.400

雑誌 4.410

雑誌 4.420

雑誌 4.430

雑誌 4.440

雑誌 4.450

雑誌 4.460

雑誌 4.470

雑誌 4.480

雑誌 4.490

雑誌 4.500

雑誌 4.510

雑誌 4.520

雑誌 4.530

雑誌 4.540

雑誌 4.550

雑誌 4.560

雑誌 4.570

雑誌 4.580

雑誌 4.590

雑誌 4.600

雑誌 4.610

雑誌 4.620

雑誌 4.630

雑誌 4.640

雑誌 4.650

雑誌 4.660

雑誌 4.670

雑誌 4.680

雑誌 4.690

雑誌 4.700

雑誌 4.710

雑誌 4.720

雑誌 4.730

雑誌 4.740

雑誌 4.750

雑誌 4.760

雑誌 4.770

雑誌 4.780

雑誌 4.790

雑誌 4.800

雑誌 4.810

雑誌 4.820

雑誌 4.830

雑誌 4.840

雑誌 4.850

雑誌 4.860

雑誌 4.870

雑誌 4.880

雑誌 4.890

雑誌 4.900

雑誌 4.910

雑誌 4.920

雑誌 4.930

雑誌 4.940

雑誌 4.950

雑誌 4.960

雑誌 4.970

雑誌 4.980

雑誌 4.990

雑誌 5.000

8月 第20回全国大会「熊本県・熊本市」に参加

10月 第11回患者・家族交流会「大子温泉・福寿荘」で開催



全国パーキンソン病友の会茨城県支部 平成8.10.12 於：リバーサイド奥久慈温泉荘

11月 JPC全国交流会「東京・霞ヶ関」に参加

【 1998年度 】

4月 「難病特別対策推進事業」創設

第13回支部総会 記念講演 筑波大学付属病院神経内科 庄司進一 先生 講演



10月 第13回患者・家族交流会 「潮来市・潮来ホテル」で開催



6月 第22回全国大会 「埼玉県・大宮市」に参加

7月 茨城難病連が各市町村に難病見舞金制度に関する請願書提出開始



平成10年10月3日

【 1999年度 】

- 4月 第14回支部総会 記念講演 筑波大学付属病院医科学系 紙屋克子 先生講演
- 5月 パーキンソン病友の会 茨城県支部長 清水昇勝 氏が茨城県難病連会長に就任
- 8月 がんばれ難病患者日本一周激励マラソン 茨城県通過(8/29~9/1)



1999年(平成11年)8月31日 火曜日

茨城新聞



難病理解訴多全国縦走

患者らの団体の代表者が、難病の理解を訴えるため、全国縦走マラソンに参加する。茨城県支部長清水昇勝氏も参加する。...

施策要望し患者を激励

清水昇勝氏が、難病患者の現状と要望を訴える。...

1999年(平成11年)8月31日 火曜日

茨城新聞



難病患者激励に全国走る

水戸入りで歓迎集会。難病に苦しむ患者らを励ますため、支援者らとともに全国を走り続ける日本和道さん一行が前...

水戸市で歓迎集会。難病患者の現状と要望を訴える。...

水戸市で歓迎集会

水戸市で歓迎集会

8月 がんばれ難病患者日本一周激励マラソン 茨城県通過(8/29~9/1)



日本一周マラソン

北海道出発し
7日で水戸に
到着

難病患者マラソン

このマラソンは、難病患者の社会復帰を目的として、毎年開催されている。今年も多くの難病患者が参加し、北海道から水戸まで7日かけて走り抜いた。参加者は、走りながら励ましあっていた。水戸到着後、地元で歓迎会が開かれ、参加者たちは笑顔で記念撮影を行った。

福本知事と澤本さん

伴走者の方々



毎日新聞

難病対策の早期確立など訴え

7月から4カ月間かけ
日本一周激励マラソン
患者・家族団体協力が実施

【水戸】日本一周マラソン実行委員会主催の「日本一周激励マラソン」が、7月24日、北海道の札幌市をスタートし、水戸市に到着した。参加者は、走りながら、難病患者の社会復帰を訴え、早期確立を求めた。また、難病患者の生活の質を向上させるための施策の実施を求めた。水戸市では、市長と市長夫人が、参加者を歓迎し、激励の言葉を述べた。また、難病患者の家族やボランティアが、参加者を伴走し、励まし続けた。このマラソンは、今年で10回目を迎える。毎年、多くの難病患者が参加し、北海道から水戸まで7日かけて走り抜いてきた。参加者は、走りながら励ましあっていた。水戸到着後、地元で歓迎会が開かれ、参加者たちは笑顔で記念撮影を行った。

毎日新聞(平成11年)8月24日(水曜日)

身近な話題 地域のニュー

難病患者の支援訴え力走

6・22を10日かけ
日本一周マラソン

札幌の沢本さん、29日にも本県入り

【水戸】日本一周マラソン実行委員会主催の「日本一周激励マラソン」が、6月22日、北海道の札幌市をスタートし、水戸市に到着した。参加者は、走りながら、難病患者の社会復帰を訴え、早期確立を求めた。また、難病患者の生活の質を向上させるための施策の実施を求めた。水戸市では、市長と市長夫人が、参加者を歓迎し、激励の言葉を述べた。また、難病患者の家族やボランティアが、参加者を伴走し、励まし続けた。このマラソンは、今年で10回目を迎える。毎年、多くの難病患者が参加し、北海道から水戸まで7日かけて走り抜いてきた。参加者は、走りながら励ましあっていた。水戸到着後、地元で歓迎会が開かれ、参加者たちは笑顔で記念撮影を行った。

10月 第14回患者・家族交流会「大子温泉・福寿荘」で開催



全国パーキンソン病友の会 茨城支部 8.11.11.E 於 リバーサイド奥久慈

- 第23回全国大会「千葉県・舞浜」に参加
- 第2回アジア太平洋パーキンソン病シンポジウム国際会議「千葉県・舞浜」で開催・参加
- 「千葉県・舞浜」で開催・参加

11月 JPC全国交流会 激励マラソン東京到着歓迎集会「東京・浦島」に参加

4月 第16回支部総会 記念講演 国立水戸病院神経内科 吉沢和朗 先生 講演
読売新聞に寺門さんの記事掲載

5月 第25回全国大会「和歌山県・和歌山市」に参加
北原純 さんの「ふれあい音頭」カセットテープ完成

2001年(平成)13年 4月1日(日曜日)

「やさしい介護学」

パーキンソン病の患者と家族を励ます歌「ふれあい音頭」のカセットテープ完成

希望者に配布

常 隆 リ ビ ン グ (5) 平成13年5月26日(土曜日)

このカセットテープは、和歌山県和歌山市で第25回全国大会が開催された。この大会で、北原純さんが「ふれあい音頭」として、パーキンソン病の患者と家族を励ますための歌を作曲された。この歌は、和歌山県和歌山市の「ふれあい音頭」カセットテープとして完成された。このテープは、希望者に配布される。

このテープは、和歌山県和歌山市で第25回全国大会が開催された。この大会で、北原純さんが「ふれあい音頭」として、パーキンソン病の患者と家族を励ますための歌を作曲された。この歌は、和歌山県和歌山市の「ふれあい音頭」カセットテープとして完成された。このテープは、希望者に配布される。

10月 第16回患者・家族交流会「大子温泉・福寿荘」で開催



全国パーキンソン病友の会会報編集委員 2001.10.13. 於 福寿荘

11月 第3回アジア太平洋パーキンソン病シンポジウム国際会議「香港」参加
JPC全国交流会「東京・霞ヶ関」に参加

4月 第17回支部総会 記念講演 自治医科大学神経内科 藤本健一 先生 講演

※ 読売 14. 3. 26

自治医科大学神経内科 藤本健一先生が、新刊『新時代のパーキンソン病』の出版を記念して、水戸市で講演した。講演は、パーキンソン病の病態、診断法、治療法を中心として、藤本先生による講演。入場無料。問い合わせは、茨城県支部（029-22-5999）

※ 茨城 14. 4. 5

パーキンソン病 講演会、14日に 水戸
パーキンソン病の社会的啓蒙を目的とした講演会が14日、水戸市千波町の自治医科大学で午後一時半から開かれ

講演会には、自治医科大学の自治医科大学神経内科 藤本健一先生が、自治医科大学の藤本健一先生が「新時代のパーキンソン病」の出版を記念して、水戸市で講演した。講演は、パーキンソン病の病態、診断法、治療法を中心として、藤本先生による講演。入場無料。問い合わせは、茨城県支部（029-22-5999）



5月 第26回全国大会「千葉県・木更津市」に参加
清水支部長 歴代5代目全国パーキンソン病友の会会長に就任

10月 JPC街頭署名・募金活動（県民まつり・笠間会場で実施）
第17回患者・家族交流会「常陸太田市・ときわ路」で開催



「全国パーキンソン病友の会茨城県支部」H14.10.19 於 ときわ路

3月 新聞記事「難病患者切り捨てるのか」掲載



- 4月 第18回支部総会 記念講演 自治医科大学神経内科 藤本健一 先生講演
- 6月 第27回全国大会「石川県・金沢市」に参加
- 9月 第18回患者・家族交流会「土浦市・サンレイク土浦」で開催



- 10月 第4回アジア太平洋パーキンソン病シンポジウム国際会議「韓国・ソウル」に参加



- 11月 JPC全国交流会「東京・浦島ホテル」に参加

- 1月 いばらき難病連 50記念号 発行
- 4月 第19回支部総会 記念講演 県立医療大学付属病院 永田博司 先生 講演
- 6月 第28回全国大会「福岡県・福岡市」に参加
新聞記事「北原純さんが2年連続で作詞入賞」
- 11月 パーキンソン病フォーラムを「ひたちなか市しあわせプラザ」で開催

(17) 平成16年9月4日(土曜日) 常 期 刊

難病のパーキンソン病を患いながら、歌手としての活動を続ける北原純さん。その活動の中心は、福岡県内の各地で行われる「パーキンソン病の啓蒙活動」である。北原さんは、自身の経験を活かして、患者さんや家族さんへのサポートに力を注いでいる。また、音楽を通じて、患者さんの生活の質を向上させることに貢献している。

2年連続で作詞入賞 難病患う守谷の北原純さんが

歌手の経験生かし後進の育成に力入れる
地域の慰問活動も8年目



北原純さんは、福岡県守谷市在住の歌手兼作詞家。パーキンソン病を患いながらも、音楽活動を通じて患者さんや家族さんへのサポートに力を注いでいる。また、地域の慰問活動にも積極的に参加している。



「音楽」を通じて、患者さんの生活の質を向上させることに貢献している。また、地域の慰問活動にも積極的に参加している。北原さんは、自身の経験を活かして、患者さんや家族さんへのサポートに力を注いでいる。

- 9月 第19回患者・家族交流会「いこいの村・ひぬま」で開催

(33) 第19回 第2 12 頁 2004年(平成16年)11月11日(木曜日) 頁

覚せい剤の出入り防げ

水戸 民間協議会開催
覚せい剤の出入りを防ぐための対策として、民間協議会が開催された。覚せい剤の被害は、年々増加しており、社会問題となっている。協議会では、警察、自治体、市民団体などが連携して、覚せい剤の流入を防ぐための対策を話し合った。

覚せい剤の被害は、年々増加しており、社会問題となっている。協議会では、警察、自治体、市民団体などが連携して、覚せい剤の流入を防ぐための対策を話し合った。

室内 いばらき

健康ポイント

室内の空気環境は、健康に大きな影響を与えます。花粉、ダニ、カビなどのアレルギーの原因となる物質は、室内に滞留しやすいため、定期的な換気と掃除が重要です。

また、加湿器の適切な使用も、乾燥による健康被害を防ぐのに役立ちます。加湿器のフィルタは定期的に交換し、清潔に保ちましょう。

- 11月 JPC全国交流会「和歌山県・和歌山市」に参加
全国会報 100記念号 発行

SSKA
全国パーキンソン病 長の方会会報
No. 100 2004.11.22

“生きる”って何でしょう
私たちはそのことを考えます



全国パーキンソン病の方の会
Jppa